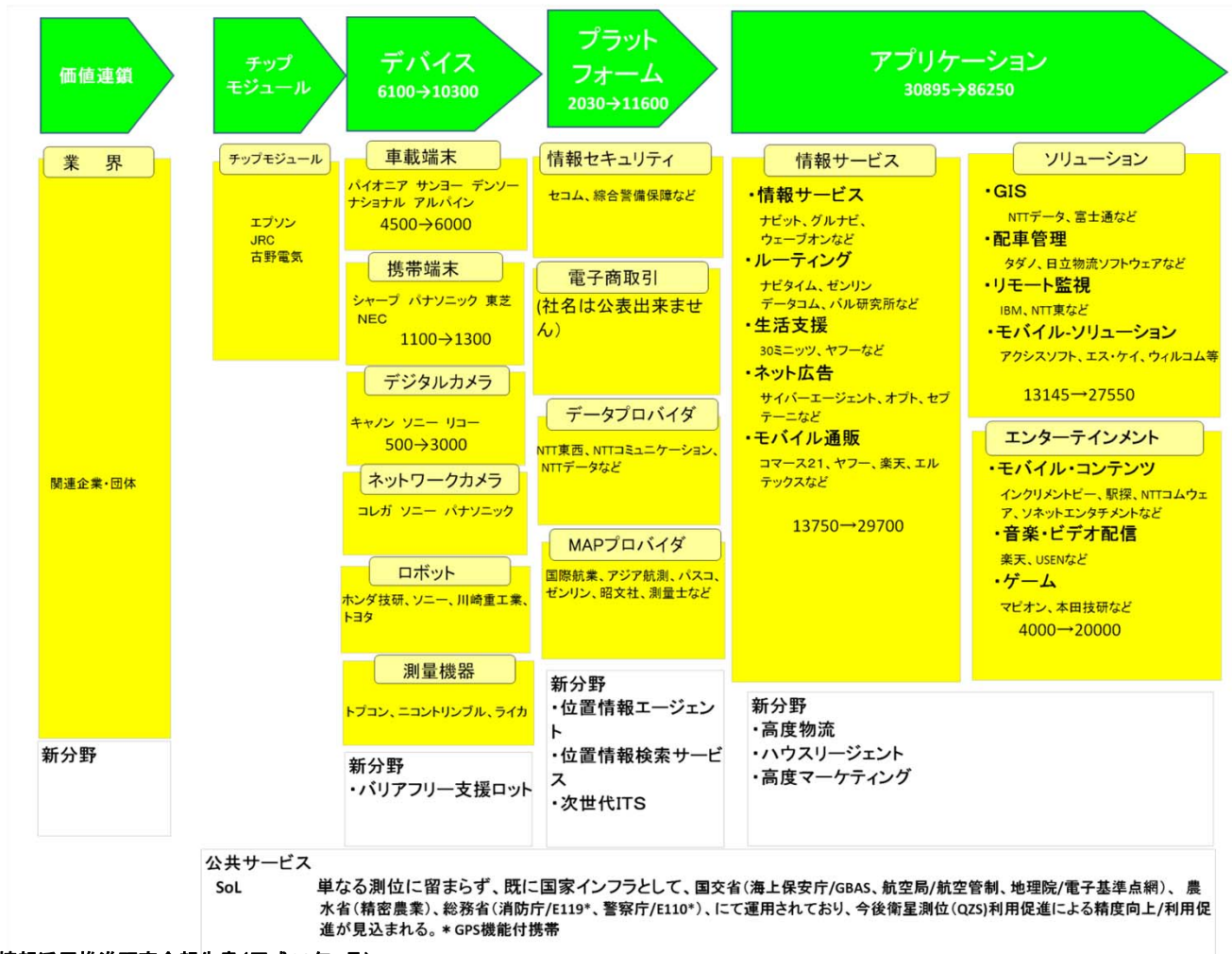


# 5. 準天頂衛星システムの機能と意義

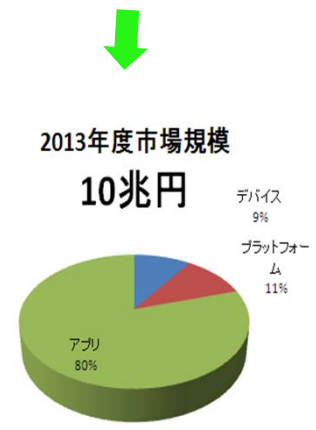
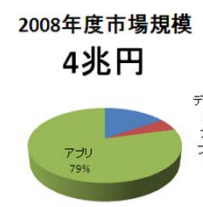
## (5) 国内市場規模の拡大予測(2008年時点の予測)

- 国内市場規模予測: 4兆円(2008) ⇒ 10兆円(2013)
- 世界市場規模予測: 7兆円(2005) ⇒ 56兆円(2025) (2006年EU調査)  
〔うち商品: 3.9兆円 → 33兆円 サービス: 3.2兆円 → 24兆円〕



単位: 億円/年

市場規模予測:  
2008年 → 2013年



# 6. 準天頂衛星システムの利用拡大 (1)測位衛星の利用事例

今日、GPSの利用は、様々な省庁(所管産業界等を含む。)で広く行われている。



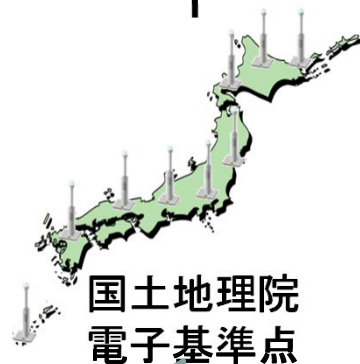
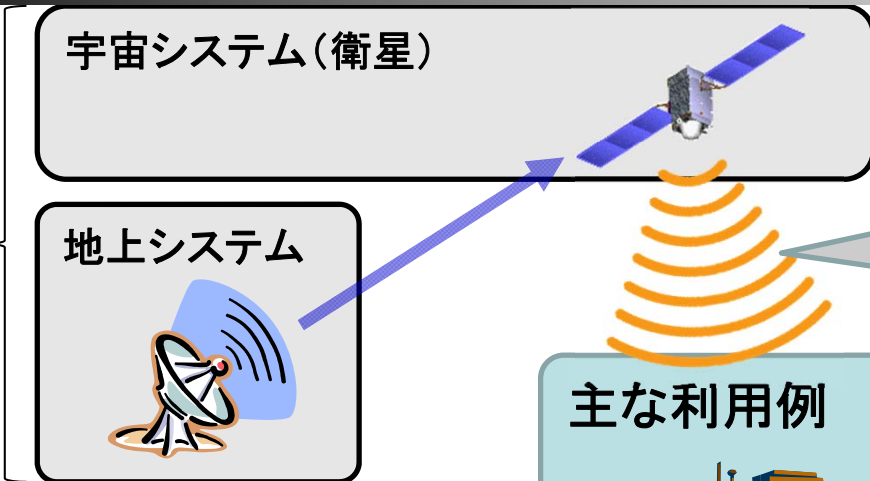
# 6. 準天頂衛星システムの利用拡大

## (2) 実用準天頂衛星システムの利用促進の例

内閣府が整備

宇宙システム(衛星)

地上システム



H24に全1240点中、約200点を準天頂衛星対応に改修済→H25に完了予定

センチメートル級補強信号

電子基準点データを元に補強信号を作成し、準天頂衛星から測位信号と共に送信することで、静止～移動体の利用者がセンチメートル級の精度の測位を可能にする。

主な利用例



IT農業

自動化のための農耕機材の精密位置決め、場所ごとの土壌によって捲く肥料の変更 等



情報化施工

建機の自動化、施工管理の効率化による工期の短縮 等



精密測量

山間部等の携帯電話サービスエリア外等での準リアルタイムの測量の実施 等

利用促進への課題 → 予算の重点化

- ・ 対応受信機の普及 (小型化、低廉化) → 内閣府
- ・ 電子基準点の準天頂衛星システムへの対応 → 国土交通省
- ・ 実用化のための実証実験の実施、手順・基準等の策定 → 各利用機関